前歯部歯列不整を持つ重度歯周炎の患者に対する 治療の1症例について

新潟県開業, * 日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座

野澤 健, 伊藤公一*

A Treatment Case Report for Advanced Adult Periodontitis Patient with Abnormal Anterior Tooth Position

(Niigata, *Department of Periodontology, Nihon University School of Dentistry)

Takeshi Nozawa, Koichi Ito*

キーワード：成人性歯周炎，歯列不正，MTM，インプラント

1.はじめに

重度歯周炎と前歯部歯列不正、臼歯部咬合崩壊を伴った症例に対しMTM, インプラントを行い口腔機能の回復を試みた症例について報告する。

2. 初診

女性 1957年3月21日生れ 37歳

初診日 1994年9月12日

主訴：前歯の歯並びが気になる

菌がぐらぐらして嘔めない

特記事項 特になし

3. 診査、検査所見

[illegible]

(1) 口腔内所見：上下顎の辺縁歯肉、歯間乳頭部に発赤、腫脹が見られる。下顎前歯部に叢生が見られ22の口蓋側転位、23と24間に歯間離開が見られる。大歯関係においてアングル2級の状態である。

(2) X線所見：上下顎に多量の歯石沈着が認められる。特に16、26、46に高度の骨吸収が認められる。22に歯根膜腔の拡大が認められる。

4. 診斷：成人性齒周炎

(若年性歯周炎の既往も疑われる。)

5.治療計画：

(1) 初期治療：口腔清掃指導、スケーリング、ルートプレーニング、16, 26, 46抜歯

(2) 再評価

(3) 齒周外科処置：

白歯部を中心に歯肉弁根尖側移動術

34, 35と45, 46相当部に遊離歯肉移植術

(4) インプラント埋入

45, 46相当部 (IMZ) インプラント

(5) 上下前歯部のMTM：臼歯部にメタルプロビジョナルを用い固定源にする

(6) バイトプレーン療法

(7) 再評価

(8) 補綴処置：

⑬⑭⑮ブリッジ

②⑤②⑥②⑦ブリッジ

14, 22, 34, 35焼付陶材冠
45, 46インプラント上部構造

47 金属冠

(9) メインテナンス

治療經過：

1.初診時より動機付けを開始しプラークコントロール、スケーリング、ルートプレーニングを行い

16、26、46の抜歯を行う

2.再評価（歯周治療の評価）PCRは14%に減少する。全顎的に臼歯部に6mm以上のポケットが存在する、

3. 歯周外科手術 1994年11月より1995年3月にかけて臼歯部において歯肉弁根尖側移動術を行い34、35部、45、46相当部に遊離歯肉移植術を行う。

1995年5月に45、46相当部にIMZインプラント埋入を行う。